

北陸電話工事株式会社

第66期 報 告 書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



情報と通信の未来を創る

総合エンジニアリング企業

# 株主の皆様へ



代表取締役社長 森 泰夫

平素は当社の事業運営につきまして格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、平成25年3月31日をもって、第66期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここにその事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成25年6月

## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、欧州債務問題の動向が懸念されるなか、東日本大震災の復興関連需要などから国内需要が堅調に推移しつつあるものの、景気は横ばい圏内の動きに止まり、最近になってアベノミクス効果により持ち直しに向かう動きが見られます。

情報通信分野においては、当社グループの主要な取引先である西日本電信電話株式会社（NTT西日本）におかれましては次世代ネットワーク・サービスである「フレッツ光ネクスト」の提供エリアを拡大されつつあり、平成24年12月末での全国のブロードバンドサービス契約数は5,359万となり、そのうち光ファイバーは前年同期比164万増の2,354万となっております。ブロードバンドサービス全体に対する光ファイバーのシェアは、3.9世代移動通信システム（LTE）が急激に伸びている影響で前年同期58%が43%と低減しておりますが、依然として主流のサービスとなっております。今後、光ファイバーサービスと移動通信システムとはWi-Fi機能による協業サービスの進展が期待されま

す。このような状況のなかで当社グループの受注工事高、完成工事高は、NTT工事ではフレッツ光ネクストの提供エリア拡大があったもののケーブル工事、土木工事の減少により完成工事高は前期を下回りましたが、移動体基地局関連工事や民需では情報システム関連のソフトウェア開発と防災無線、高速道路通信、新幹線通信工事が増え、さらに子会社の受注増により受注工事高は142億4千万円（前期比13.4%増）となり、完成工事高は136億8千8百万円（前期比9.7%増）となりました。

利益面につきましては、当社グループを挙げて生産性の向上およびコスト改善施策等を継続的に実施したことにより営業利益は3億4千7百万円（前期比4.2%増）、経常利益は3億9千4百万円（前期比5.3%増）、当期純利益は1億7千9百万円（前期比27.2%増）となりました。

## 財務ハイライト

### セグメント別の業績

#### 通信建設事業

フレッツ光ネクストのエリア拡大に伴うケーブル工事は順調でしたが、大型光ケーブル工事や電線共同溝工事が減少したものの、移動体基地局関連工事や民需では防災無線、高速道路通信、新幹線通信工事が増え、受注工事高は131億4千6百万円（前期比13.0%増）、完成工事高は127億2千1百万円（前期比9.7%増）となりました。

#### 受注工事高

**131億4千6百万円**  
前期比13.0%増

#### 完成工事高

**127億2千1百万円**  
前期比9.7%増

#### 情報システム事業

NTT関連企業からのソフトウェア開発の受注が減少したものの民需でのソフトウェア開発を受注でき、受注工事高は10億5千7百万円（前期比18.5%増）、完成工事高は9億6千7百万円（前期比9.9%増）となりました。

#### 受注工事高

**10億5千7百万円**  
前期比18.5%増

#### 完成工事高

**9億6千7百万円**  
前期比9.9%増

### 対処すべき課題

当社グループの主たる事業領域である情報通信分野を展望すると、昨今のスマートフォンの台頭を始めとして、お客様ニーズの多様化・高度化により市場環境が年々大きく変化しております。

このような状況のなか、NTT西日本におかれましては、光の特性を活かした多彩なサービスを提供できるオープンな次世代ネットワーク（NGN）の提供により、ブロードバンド・ユビキタスネットワーク環境を実現することで、新たな情報流通社会の発展が期待されるところであります。

地域通信市場においても、ブロードバンドによるユビキタスネットワーク社会の形成に向けたフルIPネットワーク基盤の構築が進展しており、光化・IP化への円滑な移行に併せ、移動通信と固定通信および通信と放送の融合等、情報通信技術（ICT）を活用した多様なサービスの展開が進行し、新規ユーザー獲得とシェア拡大に向けた通信事業者間の競争は一段と熾烈なものとなっております。

売上面では主力であるフレッツ光の設備が充足されつつあるなかで近年漸減傾向にあり、新規事業分野の開拓と対象市場の拡大を図るとともに民需市場ではソリューション型営業の展開を図り、売上を増加基調に転換することに努めます。

工事・保守の実施においては、安全を最重点として納期厳守、高品質、高生産性を実現するための現場力にさらに磨きをかけて利益確保を図ることとします。

なお、当社グループにおいても団塊の世代が順次定年を迎えており、満60歳以降の継続雇用制度の活用を図りながら、新規卒業者の継続的採用と計画的育成により、新旧の技術継承を円滑に行っていくとともに、NTT技術者資格、上級の公的資格やベンダ資格の取得推進を図ります。

さらに当社では、激変する情報通信分野における競争と変化に対応できる安定した経営基盤を確立することはもとより、企業の社会的責任を果たすためにコンプライアンス（法令遵守）の徹底を図るとともに、品質マネジメントシステム（ISO9001）と労働安全衛生マネジメントシステム（OHSAS18001）および情報セキュリティマネジメントシステム（ISO27001）の統合マネジメントシステム（IMS）の活用により、良質なサービスの提供を通して、「株主」「お客様」「お取引先」等から信頼され、発展し続ける企業グループを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 連結財務状況の推移

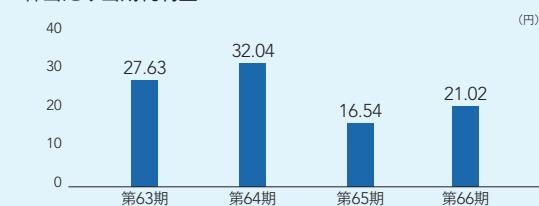
受注工事高および完成工事高



経常利益および当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産および純資産



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>6,649,734</b>	<b>6,710,458</b>
現金預金	2,493,667	2,905,652
受取手形・完成工事未収入金	3,265,255	2,960,050
有価証券	555,902	555,494
未成工事支出金	47,552	36,725
材料貯蔵品	34,139	46,527
繰延税金資産	103,597	84,572
その他	154,334	126,005
貸倒引当金	△4,714	△4,569
<b>固定資産</b>	<b>3,303,582</b>	<b>3,137,697</b>
有形固定資産	2,000,184	1,765,256
建物・構築物	630,821	460,824
機械・運搬具	147,761	119,189
工具器具・備品	81,856	61,497
土地	1,139,744	1,123,744
無形固定資産	10,256	11,292
ソフトウェア	6,703	7,821
その他	3,552	3,471
投資その他の資産	1,293,141	1,361,148
投資有価証券	534,063	440,442
長期貸付金	1,730	3,007
繰延税金資産	724,650	898,060
その他	36,415	19,658
貸倒引当金	△3,717	—
<b>資産合計</b>	<b>9,953,317</b>	<b>9,848,155</b>

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,263,091</b>	<b>2,020,669</b>
工事未払金	1,269,595	998,555
短期借入金	33,520	8,496
未払法人税等	39,124	39,102
賞与引当金	179,168	191,938
完成工事補償引当金	9,767	9,282
工事損失引当金	470	2,191
その他	731,445	771,104
<b>固定負債</b>	<b>2,148,429</b>	<b>2,427,326</b>
長期借入金	32,622	3,808
退職給付引当金	1,790,271	1,923,181
役員退職慰労引当金	142,758	245,553
負ののれん	19,583	22,130
長期未払金	153,183	221,310
その他	10,010	11,341
<b>負債合計</b>	<b>4,411,520</b>	<b>4,447,996</b>
<b>(純資産の部)</b>		
<b>株主資本</b>	<b>5,503,397</b>	<b>5,392,981</b>
資本金	611,000	611,000
資本剰余金	329,364	329,364
利益剰余金	4,654,147	4,542,880
自己株式	△91,115	△90,263
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>22,256</b>	<b>△27,154</b>
その他有価証券評価差額金	22,256	△27,154
<b>少数株主持分</b>	<b>16,143</b>	<b>34,332</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,541,796</b>	<b>5,400,159</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>9,953,317</b>	<b>9,848,155</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高		
完成工事高	13,688,680	12,469,659
売上原価		
完成工事原価	11,951,104	10,783,335
売上総利益		
完成工事総利益	1,737,576	1,686,324
販売費及び一般管理費	1,390,374	1,353,177
営業利益	347,201	333,146
営業外収益	51,890	45,359
受取利息及び配当金	11,382	10,335
受取地代家賃	7,869	9,979
持分法による投資利益	6,268	5,000
その他	26,370	20,043
営業外費用	4,105	3,690
支払利息	681	549
その他	3,423	3,140
経常利益	394,986	374,814
特別利益	3,916	51,538
固定資産売却益	2,410	26,349
投資有価証券売却益	—	257
負ののれん発生益	1,506	24,931
特別損失	58,167	40,817
固定資産売却損	38	19
固定資産除却損	4,800	11,174
投資有価証券評価損	53,327	—
退職給付制度改定損	—	29,623
税金等調整前当期純利益	340,736	385,536
法人税、住民税及び事業税	51,991	74,591
法人税等調整額	127,300	186,951
少数株主損益調整前当期純利益	161,444	123,993
少数株主損失	18,189	17,150
当期純利益	179,634	141,144

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当期 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,988	606,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△410,135	△128,339
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,380	△87,283
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△349,527	391,075
現金及び現金同等物の期首残高	3,343,694	2,952,618
現金及び現金同等物の期末残高	2,994,166	3,343,694

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	8,543,292株 (自己株式425,668株を除く。)
株主数	661名

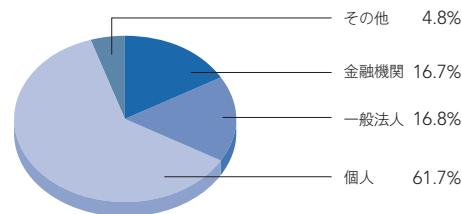
## 大株主

株主名	持株数	持株比率
大西實枝	3,033,835株	35.51%
NDS株式会社	718,740	8.41
北陸電話工事従業員持株会	623,953	7.30
株式会社北國銀行	409,700	4.79
株式会社福井銀行	399,300	4.67
株式会社北陸銀行	376,200	4.40
日本コムシス株式会社	294,151	3.44
北国総合リース株式会社	134,100	1.56
日本電通株式会社	133,000	1.55
共栄火災海上保険株式会社	110,000	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	110,000	1.28

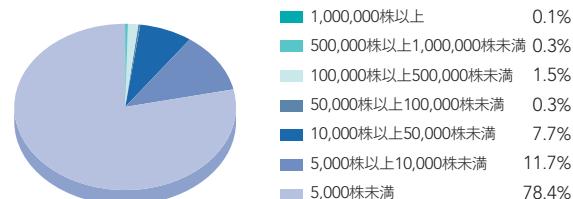
(注) 1. 当社は、自己株式(425,668株)を所有しておりますが、上記の大株主からは除いております。  
 2. 持株比率は自己株式(425,668株)を控除して計算しております。  
 3. 上位第10位に当たる株主が2名のため大株主は11名記載しております。

## 株式の分布状況

## 所有者別



## 所有数別



## 会社の概況 (平成25年3月31日現在)

### 会社概要

商号	北陸電話工事株式会社 Hokuriku Denwa Kouji Co.,Ltd
資本金	6億1,100万円
従業員	660人(連結)
代表者	代表取締役社長 森 泰夫
本社	本社 / 〒920-0912 石川県金沢市大手町2番3号 Tel.076-221-6116
支店	富山支店 / 〒931-8313 富山県富山市豊田町1丁目4番22号 Tel.076-441-4211 福井支店 / 〒918-8003 福井県福井市毛矢3丁目7番8号 Tel.0776-36-5630 東京支店 / 〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目8番17号 平家ビル3F Tel.03-3500-3757
営業所	関西営業所 / 〒556-0013 大阪市浪速区戎本町2丁目9番3号 Tel.06-6633-4384 新潟営業所 / 〒950-2064 新潟市西区寺尾西2丁目10番30号 Tel.025-260-9572

### 事業内容

当社は、西日本電信電話株式会社およびエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の電気通信設備工事請負業者として電気通信設備工事競争参加資格を受けております。

#### 通信建設事業

ケーブル設備、土木設備、ネットワーク設備等の電気通信設備工事、その他建設工事全般の設計・施工・保守および附帯する事業

#### 情報システム事業

業務用アプリケーションや通信ソフト開発、ネットワークの設計・施工・保守および附帯する事業

### 役員

代表取締役社長	森 泰夫
常務取締役	横越 純一
常務取締役	小田 修
取締役	川原 秀夫
取締役	上段 正憲
取締役	寺井 孝美
取締役	澤田 達夫
取締役	川面 正雄
取締役	北川 久義
取締役	得永 隆彦
取締役	渡 幸記
取締役	塚本 恒明
常勤監査役	中河 哲秀
監査役	高木 利正
監査役	角木 完太郎

(注)監査役 高木利正、監査役 角木完太郎の両氏は、社外監査役であります。

### 子会社

金沢電話工事株式会社  
第二電話工事株式会社  
加越電話工事株式会社  
トヤマ電話工事株式会社  
株式会社テレコムサービス  
北陸チノール株式会社  
富山土木株式会社

(注)平成24年4月2日付で、株式会社テレコムサービスの全株式を取得し、同社を完全子会社といたしました。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日
	期末配当 毎年3月31日
	中間配当 毎年9月30日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。 《当社ホームページ》 <a href="http://www.hokuwa.co.jp/">http://www.hokuwa.co.jp/</a>
株主名簿管理人／ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先／ 各種お問合せ先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
	●各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料) 〔受付時間9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

- (ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株主に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 北陸電話工事株式会社

〒920-0912

石川県金沢市大手町2番3号

TEL076-221-6116

<http://www.hokuwa.co.jp/>

